朝日小学校創立 100 周年記念特集
～朝日小創立 100 周年記念協賛会実行委員と振り返る一年～

大正５年に日新小学校付属特別教授場として開校した朝日小学校は、平成27年に創立100周年を迎えました。

この100年に一度の節目をお祝いしようと、朝日小ＰＴＡが中心となり、朝日小創立100周年記念協賛会実行委員会を立ち上げ、６月には「大運動会」、９月には「百キロ百人駅伝」を成功させ、その後も、学芸会や記念式典など数々の行事を行ってきました。

実行委員会は、全児童の保護者と先生の総勢73名で組織されており、この一年、記念事業に創意工夫を加え、また、子どもたちと学校・地域が今後どのように連携し、次代に繋いでいくかを考え続けた一年でした。

今月の特集では、実行委員５名の方に出席いただき、全員で一丸となり走り続けた、この記念すべき一年間を振り返ってみたいと思います。

協賛会は多くの実行委員で組織されておりましたが、今回の座談会には、実行委員会役員５名にお集まりいただきました。

それぞれの方の百周年事業の思い出と、朝日小学校の魅力などについてお聞きしました。

■　遠　藤　博　文　■
住所：字大富
役職：協賛会会長

100周年記念ロゴマークについて

司会　強く記憶に残っていること、お互いに聞いてみたいことはありますか？

遠藤　濱口さんがデザインした100周年記念のロゴマークは、よく考えられてましたよね。

朝日が昇るところとか、最初からイメージにあったのですか？

濱口　まず最初に「朝日」という文字で「100」を表すことを考えました。

漢字の「朝日」、ひらがなの「あさひ」では「100」を作ることができなかったのですが、カタカナの「アサヒ」ならできるかもしれないと考えてデザインしてみました。

そして、文字だけだと殺風景な感じがあったので、昇る朝日をイメージして太陽を描き、そして、明和・太陽・美宇・東川・若園小学校が朝日に集まったことを表すために、５つの光を付け加えました。

佐々木　いくつも案があり、みんなで投票をして決めましたが、この作品は断トツに人気がありましたよね。

濱口　体育館にこのロゴマークが貼られたり、印刷物や懸垂幕、記念Ｔシャツなど色々なところで目にする機会があり、嬉しかったですね。

100 周年記念協賛会
ロゴマーク

濱口さんの作品に、ローマ字で文字を追加して、100 周年のロゴマークが完成しました。

百周年大運動会について

遠藤　運動会もドローンを飛ばして記念撮影をしたり、色々とやりましたね。

濱口　記念誌にもドローンで撮影した写真を掲載していますね。

司会　このドローンの写真を撮影した人は地元の人ですか？

佐々木　静内の方だと思いますが、明和の清水さんの繋がりで紹介していただき、撮影をお願いしました。

■　濱　口　英　也　■
住所　字朝日
役職　事業委員会委員長

司会　昔の小学校の写真が貼られた大きなパネルは何に使用したのですか？

青木　統合した小学校を題材にして「これはどの学校の校歌？」などというクイズを行ったときに使いました。

司会　この巨大なパネルはどのようにして制作したんですか？

佐々木　私が自宅で制作しました。

鹿海先生・遠藤会長と話をしてパネルを作ることになりましたが、希望のサイズが３ｍ×５ｍと巨大で色々と想像以上でした。笑

そして、家に材料があったので、溶接をして枠を作り、鹿海先生とパネルを貼って完成させました。

青木　家で溶接作業ができるなんて、普通の家では考えられないですよね。朝日小の保護者はすごいです！

遠藤　運動会のよさこいもインパクトありましたよね。

濱口　宮本毅（みやもと たけし）さんが実際に生で歌ってくれましたからね。

ヨサコイの「よっちゃれ」や「ＧＯ！ＧＯ！ファイターズ」を歌っている宮本さんと、たまたま繋がりがあったのですが、「ライブで歌ってくれたらすごいね」という話しをしていたら、それを今年、本当に実現させることができました。

会場もとても盛り上がったし、子どもたちにとってもいい思い出になったと思います。

宮本さんと子どもたちの共演

百人百キロ駅伝について

司会　「百キロ駅伝」はどのような経緯で開催することになりましたか？

青木　百周年記念事業として何をしたいかというアンケートが小学校から来たのが始まりです。

遠藤　駅伝は、小守さんのアイディアですよね？

小守　そうです。あれは自分なりに色々考えて最初の案を作りました。

まず、朝日小と新冠をＰＲできるように「百キロ駅伝」とインパクトのあるものを考えました。そしてネットでルートや距離を調べたりとかなり本気で考えました。笑

佐々木　その案を見て、沼倉先生も火が付いたんでしょうね。笑

遠藤　私は最初に案を見た時、２日かけてやるのかとか思いました。

小守　自分の最初の案では、一人１キロ程度で１００人で走れば１００キロになるということで考えたんですが、沼倉先生や学校の先生方が、ルートとか問題点を洗い出してくれて、最終的には33区画を３つのチームに分け合計１００キロを走るという内容に変わり、実現できることになりました。

遠藤　統合になった５つの小学校を回るという案も、最初から考えていたんですか？

小守　はい。統合された学校を経由して、ゴールは朝日小と考えました。

青木　駅伝当日は、それぞれの学校に協力をいただきましたよね。

スタートやゴールだったり、昼食場所としても協力いただきました。トイレだとか待合所としても使わせてもらい本当に助かりました。

あと、地域の人もたくさん沿道に出て応援してくれました。

■　青　木　　恵　■
住所：字明和
役職：協賛会副会長

■　小　守　智　志　■
住所：字明和
役職：総務委員会委員長

そして、なんといっても朝日小の先生たちの周到な準備と心配りがすごかった。

送迎する人と走るこどもの組み合わせとかがとてもよく考えられていたし、コースや現地の状況を何度も下見されていました。そして、スタートしてからゴールするまでの時間がピッタリでびっくりしました。

小守　前年の校内マラソンの結果を参考にされたみたいですね。

あと、子どもたちが走るコースも、できるだけ自分の家の近くを走れるように配慮してあり、色々と気を使ってもらっていましたよね。

濱口　駅伝は百周年としての単独事業でしたが大成功でしたね。

百周年記念誌について

濱口　私の属していた事業委員会では、11月の記念式典で配布した、百周年記念誌を作成しました。

私は印刷関係のことはよく分らないのですが、委員の中に詳しい方がいたので、その人を中心に編集作業を進めることができました。

司会　実際にはどのような過程で制作したのですか？

濱口　まず、会議で朝日小70周年記念誌の内容や構成がすばらしいので、この内容をできるだけ忠実に再現して記念誌を作ることに決めました。

例えば、記念誌の最初のページは、前回は校舎平面図で始まるので、今回も平面図で始まります。

ここですごいのが、この校舎の中の風景は、実際に教室を回って撮影した画像を貼り付けているんです。

小守　ここまでくると、素人では手がつけられないレベルですね。笑

濱口　表紙も、前回が絵なので、今回も美術系の学校に通う卒業生に描いてもらいました。

また、各章の写真も同じ撮影ポイントを探して、同じ構図になるように撮影しました。例えば、第４章の朝日の森の写真は、30年前と同じ木を探しまわりました。ようやく見つけた時は嬉しかったです。笑

記念誌の内容は盛りだくさんで、自分たちは担当を決めて、各部門に

■　佐　々　木　和　幸　■
住所：字太陽
役職：協賛会副会長